

15 進路状況

令和4年度卒業生徒進路状況

		男子	女子	未定	合計			男子	女子	未定	合計			
男子	23	進 学	四年制大学	4	0	0	4	就 職	企 業	県内	5	1	0	6
	女子		3	短期大学	0	0	0			0	県外	1	0	0
	合計		26	専門学校等	8	2	0		10	公務員	3	0	0	3
			その他	1	0	0	1		その他	1	0	0	1	
			合 計	13	2	0	15		合 計	10	1	0	11	

過去5年間の主な進路先

【大学】

大阪芸術、大阪産業、大阪商業、大阪電気通信、岐阜経済、京都産業、京都美術工芸、皇學館、鈴鹿医療科学、帝塚山、天理、富山国際、奈良、奈良学園、阪南、明治国際医療、創価

【短期大学】

関西女子、四天王寺、奈良芸術

【専門学校】

ESP エンターテインメント大阪音楽、上田安子服飾、ヴェルルージュ美容、大阪社会体育、大原情報デザインアート、大原和服、大阪情報コンピュータ、大阪動植物海洋、大阪動物、大阪ECO 動物海洋、大阪医療技術学園、大阪こども、大阪ビューティーアート、大阪工業技術、大阪府立東大阪高等職業技術専門校、京都調理師、京都伝統工芸大学校、甲賀健康医療、高津理容美容、清風情報工科学院、トヨタ神戸自動車大学校、神戸医療福祉、奈良県立高等職業訓練校、奈良調理、HAL、放送芸術学院、森ノ宮医療、代々木アニメーション学院、和歌山県立産業技術学院、

【就職】

浦島観光ホテル、エクセディー、大峰堂薬品工業、樞原神宮、亀田、関西畳工業、きんでん、ケーエスケー、光洋銘板製作所、サイプレスクラブ、サカイ引越センター奈良支社、櫻井、三和澱粉工業、スポーツセンター田原本、自衛隊、敷島製パン、至誠堂製菓、高木包装、ツバキナカシマ、トールエクスプレスジャパン、どうとんぼり神座、十川ゴム、十津川森林の食肉加工施設、十津川村社会福祉協議会、奈良観光バス、奈良市消防局、南都銀行、日本郵便、飛天、ヘアプレイスアージュ、丸商店、美々卵、ムラキ、山食、山崎製パン、ライフ21、YTVネクストライ、わたらせ温泉、山一建設、岸尾産業、ダイシン化工、JPロジスティックス、十津川村役場

令和5年度

奈良県立十津川高等学校

学校要覧



奈良県吉野郡十津川村込之上58

TEL : 0746-64-0241

FAX : 0746-64-0281

MAIL : info036@nps.ed.jp

HP : <http://www.e-net.nara.jp/hs/totsukawa/>

1 沿革

元治元年(1864)	2月	京都御所にて文武館開設の御沙汰を賜る
元治元年(1864)	5月	折立松雲寺を仮館舎として中沼了三が文武館を開館する(新暦6月5日)
慶応元年(1865)	1月	折立村字平山の新館舎に移転する
明治5年(1872)	12月	太陽暦を用い、明治5年12月3日をもって、明治6年1月1日とする
明治33年(1900)	11月	文部省告示第215号により私立中学校文武館を開館する
大正9年(1920)	10月	十津川中学文武館と改称する
大正10年(1921)	4月	本館焼失する
大正15年(1926)	7月	文武館を財団法人として設置許可を得る
昭和2年(1927)	8月	新館舎の落成に伴い込之上の現在地に移転する
昭和17年(1942)	4月	奈良県に移管され奈良県立十津川中学文武館となる
昭和23年(1948)	9月	学制改革により奈良県立十津川高等学校となる
昭和38年(1963)	11月	創立100周年記念式典を挙げる
昭和41年(1966)	12月	全面改築起工式を挙げる
昭和43年(1968)	3月	女子寄宿舎及び管理棟落成する
昭和43年(1968)	12月	男子寄宿舎落成する
昭和45年(1970)	8月	体育館兼講堂落成する
昭和48年(1973)	6月	本館落成する
昭和48年(1973)	10月	県立移管30周年記念式及び全面改築落成式を挙げる
昭和51年(1976)	3月	職員公舎落成する
昭和52年(1977)	2月	格技場落成する
平成2年(1990)	3月	生徒食堂全面改築・職員公舎落成する
平成5年(1993)	8月	寄宿舎全面改修される
平成6年(1994)	8月	体育館全面改修される
平成6年(1994)	10月	創立130周年記念式典を挙げる
平成9年(1997)	11月	紀伊半島3県高等学校ネットワーク推進事業開始する
平成10年(1998)	6月	中高一貫教育実践研究に関する実践協力校となる
平成11年(1999)	8月	近畿地区中高一貫教育推進フォーラムにて研究発表を行う
平成13年(2001)	4月	十津川村立4中学校と連携型の中高一貫教育を開始する
平成16年(2004)	8月	創立140周年記念事業を行う
平成17年(2005)	4月	文部科学省・奈良県教育委員会より「道徳教育推進研究校」の指定を受ける
平成17年(2005)	5月	中沼了三生誕の地、隠岐へ修学旅行を行う
平成20年(2008)	9月	文部科学省より「新しい環境教育の在り方に関する調査研究事業」の指定を十津川村立4中学校と高校が受ける
平成23年(2011)	9月	台風12号による紀伊半島大水害のため、臨時休校となる(9/2~9/16)
平成24年(2012)	4月	文部科学省より「平成24年度実践的防災教育総合支援事業」実践校の指定を受ける
平成25年(2013)	4月	全日制普通科に工芸コースを新設する
平成26年(2014)	10月	創立150周年記念式典を挙げる
平成27年(2015)	1月	ボート部全国募集開始
平成28年(2016)	1月	工芸コース全国募集開始
平成30年(2018)	4月	十津川高校、十津川中学校、十津川第一小学校、十津川第二小学校との十津川地域連携教育を開始する
平成30年(2018)	5月	国立教育政策研究所より「平成30年度教育課程研究指定校事業」の委嘱を受ける(工芸 2年間)
平成31年(2019)	4月	全日制普通科の「普通コース」を「ふるさと共生コース」に、「工芸コース」を「木工芸・美術コース」に改編し、各コースで全国募集を実施する
令和2年(2020)	1月	全コースで、特色選抜、一般選抜、二次募集の全国募集を開始する
令和4年(2022)	4月	国立教育政策研究所より「令和4年度教育課程実践検証協力校事業」の指定を受ける(化学 1年間)
令和5年(2023)	4月	国立教育政策研究所より「令和5年度教育課程実践検証協力校事業」の指定を受ける(化学 1年間) 全日制総合学科に改編する

13 寄宿舎生徒数

学年	第1学年	第2学年	第3学年	計
顕彰寮(男子)	10	6	9	25
清香寮(女子)	3	3	6	12
計	13	9	15	37

14 部活動

	部活動名・クラブ名	男子	女子	合計
運動部	硬式野球部	3	0	3
	陸上競技部	9	2	11
	バレーボール部	0	5	5
	剣道部	4	5	9
	ボート部	9	2	11
文化部	音楽部	9	3	12
	華道部	0	4	4
	茶道部	0	3	3
	美術部	2	3	5
	工芸部	5	3	8
	コンピュータ部	6	0	6
クラブ	理科クラブ	1	2	3
	ボランティアクラブ	行事ごとに生徒から参加者を募る		

(5月1日 現在)

10 出身地別生徒数

学年	出身地	奈良県			和歌山県 (本宮地区)	その他	合計
		十津川村	その他	計			
1		10	12	22	1	0	23
2		5	9	14	0	1	15
3		9	14	23	0	1	24
計		24	35	59	1	2	62

11 通学方法別生徒数

区分	徒歩	自転車	バス	その他	合計
人数	39	8	4	11	62
備考	寮生 37			自家用車等	

12 出身中学校別生徒数

学校名	区分	第1学年		第2学年		第3学年		合計
		男	女	男	女	男	女	
春日	奈良県 (十津川村以外)						1	1
登美ヶ丘						2		2
二名				1	1			2
富雄南			1		1			2
平城東			1				1	2
富雄第三								1
高田							1	1
高田西							1	1
片桐						1		1
天理北					1			1
天理西			1					1
八木				1	1			2
白樫						1		1
桜井			2					2
五條西			1					1
御所							1	1
生駒南			1		1		1	3
生駒南			1					1
緑ヶ丘							1	1
香芝				1				1
新庄							1	1
三郷								1
高取			1					1
真美ヶ丘						1		1
河合第二							2	2
吉野								1
大淀				1			1	
十津川	十津川村	6	4	4	1	7	2	24
本宮(田辺市)	県外	1						1
曙川南(八尾市)					1			1
計		16	7	10	5	16	8	62

2 校歌

- 1 大和の南 山深く 鬱然巨木立つところ
古き歴史の榮光になふ わが学びやを讃えなむ
剛毅素朴の生活の 中に秘めたる遠大の
理想の炬火を君見ずや
ああ「暮しは低く 思ひは高く」

- 井本農一 作詞 林忠保 作曲
2 流れは清し 十津川の奔流岩をかむところ
郷土の希望ここに凝る わが学びやを讃えなむ
師友睦びて相励む 自由進取の学風に
玉置の山も動がずや
ああ「暮しは低く 思ひは高く 思ひは高く」

※「暮しは低く思ひは高く」は、イギリスの詩人ワーズワースの詩の一節(Plain living and high thinking)を引用したものである。

3 校訓

- 一、自由進取を旨とし、気魄と情熱に燃えよ
一、理想高く、一意専心学道に精励せよ
一、友情かたく、品位ある学徒たれ

4 本校の教育方針

本校の教育は、十津川の雄大な自然と地域の温もりの中で、創立以来培われた本校の歴史と伝統を継承し、校訓・校歌の精神の具現化を図り、民主的な社会の形成者として新しい文化を創造できる「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成と将来の地域を担う人材の育成及び輩出に努める。

5 本校の教育目標

- (1) 多様な学習に取り組み、生徒が自ら発案し、自ら実践できる力を育成する。
(2) 生徒や地域住民の生命と未来を守るため、防災教育及びキャリア教育を推進する。
(3) 生徒・教職員相互に強固な信頼関係を築き、規範意識やコミュニケーション能力を育成する。
(4) 学習活動の中で生徒がやりがいを感じ、自己の能力に自信をもって行動することで、将来、地域社会に貢献できる能力を育成する。
(5) 保護者や地域からの信頼に応え、地域と共にある学校づくりを推進する。

6 教職員数

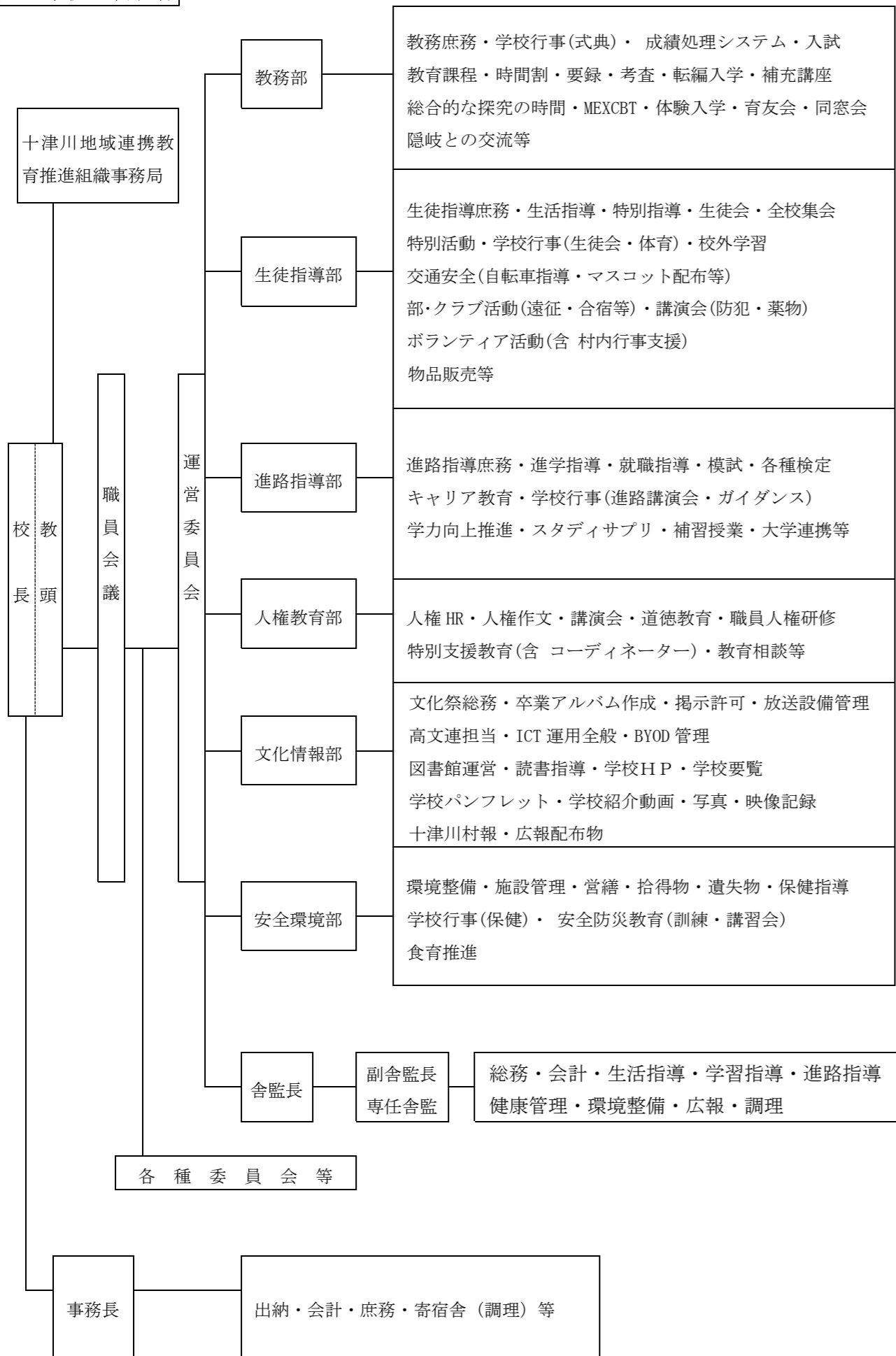
※()内の数は非常勤講師及び会計年度任用職員

校長	1	理科	2	実習助手	1
教頭	1	保健体育	2	専任舎監	1
事務長	1	芸術	3	A L T	1
舎監長	1 (兼務)	英語	3	華道	0 (1)
国語	3	家庭	0 (1)	事務職員	3
地歴公民	3	商業	1	業務員・技能員	6 (1)
数学・情報	1	養護	1	総計	34 (3)

7 HR編成

学年・組 性別	第1学年	第2学年		第3学年		合計
		1組	2組	1組	2組	
男	16	4	6	10	6	42
女	7	2	3	5	3	20
計	23	6	9	15	9	62

8 学校運営組織



9 令和5年度における1・2・3学年の教育課程表

区分	教科	科目	学 科 コ ー ス	総合 学 科 単 位 数	普 通 科								備 考	
					ふるさと共生コース		木工芸・美術コース		ふるさと共生コース		木工芸・美術コース			
					進路発展	地域創生	木工芸	美術	進路発展	地域創生	木工芸	美術		
各 科 目	国 語	現代の国語	2	2										各科目選択は各学年 アの中から1科目選択
		言語文化	2	2										
各 科 目	国 語	論理国語	4		2	2	2	2						ウの中から1科目選択
		文学国語	4		2	2	2	2						
各 科 目	国 語	国語表現	4		ア2	ア2								科目「総合国語演習」は学校設定科目、2年次に「国語表現」を履修した者に限る。
		古典探究	4		ア2	ア2								
各 科 目	国 語	現代文B	4						3	3	3	3		科目「総合国語演習」は学校設定科目、2年次に「日本史B」を履修した者に限る。
		古典B	4						3	3	3	3		
各 科 目	国 語	総合国語演習	2						ア2	ア2				
		歴史総合	2	2										
各 科 目	地 理 歴 史	日本史探究	3		イ3									
		地理A	2						2	2	2	2		
各 科 目	地 理 歴 史	日本史総合演習	2~4						イ4					
		公民												
各 科 目	公 民	政治・経済	2						2	2	2	2		
		数学I	3	3										
各 科 目	数 学	数学II	4		2	2			2			ウ2	ウ2	「数学II」は2年、3年継続履修。 ふるさと共生コース2年次に「数学A」を履修した者は、3年次に「数学B」を履修する。2年次に「森林科学」を履修した者は、3年次に「数学活用」を履修する。
		数学A	2		2	2	2	2						
各 科 目	数 学	数学B	2						ア2	ア2				
		数学活用	2								2	ウ2	ウ2	
各 科 目	理 科	化学基礎	2	2								2	2	
		生物	4		イ3									
各 科 目	理 科	地学基礎	2		2	2	2	2						2年次に「生物」を履修した者は、3年次に「化学」を履修する。
		化学	4						イ4					
各 科 目	保 健 体 育	体育	7~8	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
		保健	2	1	1	1	1	1						
各 科 目	芸 術	美術I	2	2										
		美術II	2				2							
各 科 目	芸 術	美術III	2									2		
		英語コミュニケーションI	3	4										
各 科 目	外 国 語	英語コミュニケーションII	4		3	3	3	3						
		コミュニケーション英語III	4						4	4	4	4		
各 科 目	外 国 語	論理・表現II	2		1									
		英語表現II	4						2					科目「コミュニケーション英語発展」は学校設定科目
各 科 目	外 国 語	コミュニケーション英語発展	2						2					
		家庭基礎	2	2										
各 科 目	家 庭	情報I	2	2										
		各教科・科目小計		25	25	21	17	19	29	21	21	23		
各 科 目	商 業	ビジネス基礎	2~4						2					
		簿記	2~6						2			2		
各 科 目	商 業	課題研究	2~4									3		
		情報処理	2~6									3		
各 科 目	美 術	クラフトデザイン	4~12						2	2		2	2	
		構成	2~6							4				
各 科 目	美 術	美術課題研究	2~5										4	科目「美術課題研究」「木工芸応用」「図法製図基礎」「図法製図応用」「木工芸総合」はそれぞれ学校設定科目
		木工芸応用	2~6						4					
各 科 目	工 芸	木工芸総合	2~6									4		
		図法製図基礎	2~4											
各 科 目	工 芸	図法製図応用	2~4										2	
		産業社会と人間	2~4	3										
各 科 目	地 域	ふるさと学	2~4		2	2	2	2						
		ボランティア	1~2		(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)		「ふるさと学」は学校設定科目 「ボランティア」は学校外のボランティア活動で第2学年と第3学年を通じて1単位、「ボランティア」は学校外の体験活動等で第3学年で1単位を修得することができる。
各 科 目	地 域	ボランティア	1~2		(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)		
		各教科・科目小計		3	2	6	10	8	0	8	8	6		
各教科・科目計				28	27(1)	27(1)	27(1)	27(1)	29(2)	29(2)	29(2)	29(2)		
吉野熊野学				1	2	2	2	2						
各教科・科目等計				29	29(1)	29(1)	29(1)	29(1)	29(2)	29(2)	29(2)	29(2)		
特別活動				1	1	1	1	1	1	1	1	1		
合 計				30	30(1)	30(1)	30(1)	30(1)	30(2)	30(2)	30(2)	30(2)		

(注)

・ふるさと共生コース進路発展類型・・・十津川地域の現状や課題を学習し、教育、行政、福祉、医療、産業、防災に携わる人材を育成する。
 ・ふるさと共生コース地域創生類型・・・ボランティアや防災活動の実践的な活動を通して、ふるさとの活性化に貢献できる人材を育成する。
 ・木工芸・美術コース木工芸専攻類型・・・木工芸品や木製家具の製作を通して、伝統的な技術を習得した人材を育成する。
 ・木工芸・美術コース美術専攻類型・・・十津川村の静かな環境の中で感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を持った人材を育成する。